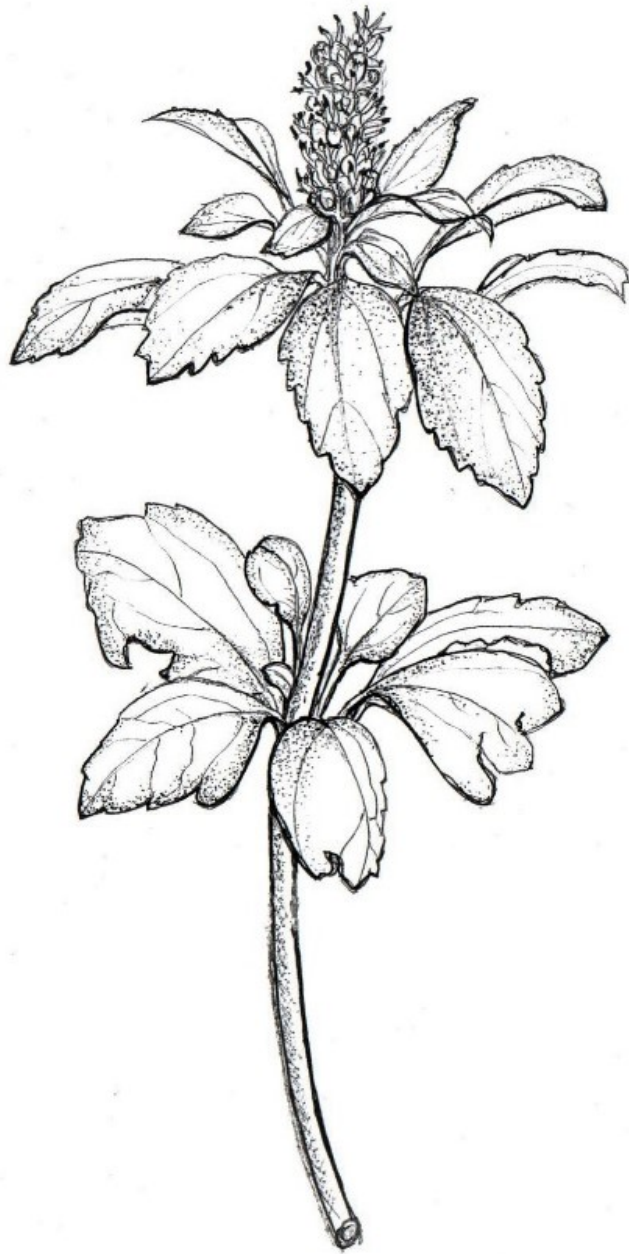




フッキソウ（富貴草）＜ツゲ科・フッキソウ属＞

山地の林内でみられる高さ 20～30cm の多年草または常緑小低木。茎は肥大生長するが木化することはなく、草本と木本の間間的な性質を併せ持つ。北海道から九州に分布し、地を這うように茎を伸ばし、その先に葉が輪生状に付く。葉は、長さ 3～8 ㍎の卵状楕円形で上半分に粗い鋸歯を持ち、つややかな革質^{なめしつ}の葉が美しいので庭園等のグランドカバーに用いられる。春には白い花を穂状に咲かせ、秋に白い実を熟す。名の由来は、常緑でよく茂るさまを繁栄にたとえて。花言葉は「吉事」「良き門出」。・・・▼プランターに植えられたフッキソウがいつの間にか花を付けていた。花は地味で目立たないけれど、青々とした元気な葉と名前がいい。▼新年度を迎え沢山の仲間が増えた。そしてまもなく、山々の樹々も緑が萌えはじめ、春を美しく演じる頃。人も、自然界も活気に満ちる季節到来。どうか、安全で楽しい活動の良き門出となりますように。

～佐伯区湯来町 2021・4月～